

令和4年度 自己評価結果公表シート

作成: 幼保連携型認定こども園 神童幼稚園

1 本園の教育目標

本園は、「平和と共生をめざす、寛容で自立した人間の育成」をめざします。毎朝90分間の時間・空間・仲間・ゆとりの間を保障した「のびのび充実保育」を通して自立・自律心を養い、幼児の興味関心に沿った遊びや生活を展開し、仲間との協同の活動に発展する保育をめざします。

2 本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ・保育教諭の教育保育への観察力と指導力の向上
- ・公立こども園の再整備に対抗する魅力的な保育設備の充実

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
保育教諭の教育保育への観察力と指導力の向上	・豊中市教育保育環境ガイドラインを活用した全クラスの園内公開保育を実施した。
・魅力的な保育設備の充実	・本園本館の幼児用トイレ4カ所をLGBTQ対応に改修。 ・本館8保育室の空調機器を更新設置。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

- ・豊中市教育保育環境ガイドラインをベースにした全クラスの園内公開を計画。実施に向けて担任保育教諭は各自の評価ポイントを設定するための話し合いを重ねた。公開保育本番では、評価者に近隣の保育施設関係者に育友会役員も加わり、関係者からの評価から各担当保育教諭は取り組み課題解決の糸口を得られました。
- ・本園本館の幼児用トイレ4カ所を改修では、それぞれに個室ブースを設置し、小便器の設置場所も通路からの視野から外れるように位置変更し、色も淡いレインボウカラーとしたことで子ども達がほっとできるトイレ環境となりました。
- ・本館8保育室の空調機器を更新設置では、屋上にあった重いマルチ室外機2機を軽量の8機に分散し屋上荷重を軽減したことで大地震時の強度を担保できました。また室内機は空気清浄機能付きとなり感染症対策に一役買えることになりました。また年度末工事だったので効果はまだ確定できないものの、高騰し続ける光熱費対策もある程度期待できるものと期待している。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
保育教諭の教育保育への観察力と指導力の向上	・ECEQ方式公開保育の実施。
利用定員の見直し	・新2号認定こどもの増加への対応 ・1号、2号認定こども利用定員の変更点の検討と申請

6 財務状況

公認会計士による監査により、適正に運営されていると認められています。

以上